

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会報

第 530 号

発行日 平成 30 年 6 月 23 日

担当

〒437-0033

袋井市上田町 306-2

袋井市立高南小学校 ことばの教室

TEL/FAX 0538-43-9105

夢に向かって 笑顔で ともに伸びようとする子

袋井市立高南小学校長 西尾 重男

袋井市立高南小学校では、交流・俳句・歌声を学校の特色として取り組んでいます。

学校教育目標は『夢に向かって 笑顔で ともに伸びようとする子』です。【明るいまはさつ・元気な返事・いつでも笑顔】を中学校区の共有する児童生徒像とおさえ、特に“笑顔”に焦点をあて、「学校が楽しい」と言える子を増やしたいと様々な活動を推進しています。

次の文章は、「ことばの教室たより」の校長あはさつの抜粋です。



昨年度末の保護者アンケートの中に、「園で友達に発音の誤りを指摘されても『ことばの教室で練習しているよ。』と言うことができた。」という一文を見つけました。また、「本人が前向きになり、自分から話すことが多くなった。」や「語彙が増え、伝えたいことを伝えられるようになってきている。」等うれしい言葉もありました。子どもは他の成長と同様に、言葉の発達にも個人差があります。子どもの様子によってその対応の仕方も様々になります。言葉の問題から、心の問題や学習の問題などに発展しないようにすることが重要だと思います。そのためには御家庭の理解と協力がどうしても必要です。ことばの教室職員との相談や連携を密にいただけると幸いです。



本校、ことばの教室は、市内全域から通う園児・児童を5人の職員で指導したり、相談活動を推進したりしています。高南小学校の子どもとして温かく迎えることで、安心して通えるよう環境づくりを進めています【明るいまはさつ・元気な返事・いつでも笑顔】が自然にできる子どもをめざして。

以下、本校のことばの教室について紹介します。

教室紹介



高南小ことばの教室は、昭和 57 年 4 月（幼児部は平成 5 年 4 月）に開設されました。

教育目標

自分らしく、生き生きと生活できる子を育てる。

○職員数（平成 30 年度 4 月現在）

児童担当 2 人 幼児担当 3 人

○通級児童、幼児数（H29 年度）

児童 5 4 人 幼児 9 5 人

○相談件数（H29 年度）

児童 6 人 幼児 1 5 7 人



平成 30 年度通級状況（6 月 1 日現在）

幼児	講音 障害	言語発 達遅滞	吃音	その他 場面緘黙	合計
3 歳児	0	0	0	0	0
4 歳児	1	3	0	0	4
5 歳児	1 9	7	1	2	2 9
合計	2 0	1 0	1	2	3 3



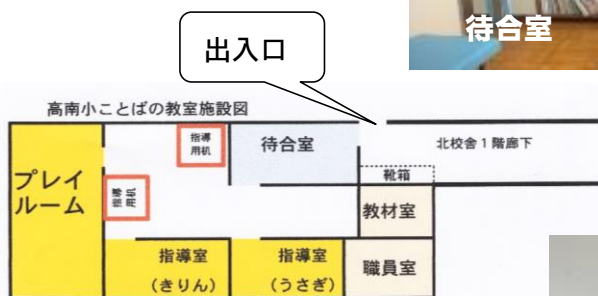
学齢	構音 障害	言語発 達遅滞	吃音	その他 場面緘黙	合計
1 年	2 2	0	2	1	2 5
2 年	1 1	1	2	0	1 4
3 年	1	0	2	0	3
4 年	0	0	1	0	1
5 年	1	0	0	0	1
6 年	1	0	2	0	3
合計	3 6	1	9	1	4 7

（待機児童 1 0 名）

個別指導が中心ですが、吃音や言語発達遅滞では、子どもの実態に合わせてグループ指導も行っています。



高南小学校北校舎西側 1 階で
指導を行っています。



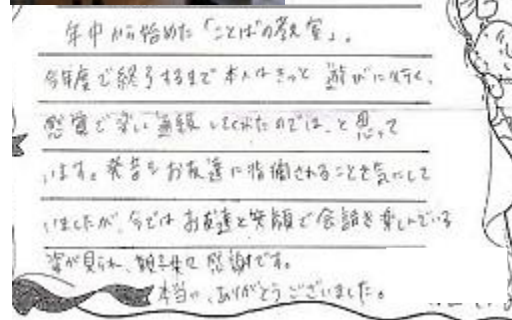
防音設備、マジックミラーを備えた指導室が 2 室しかないため、フリーな
スペースやプレイルームも使用して、5 名の指導を並行して行います。

活動・行事



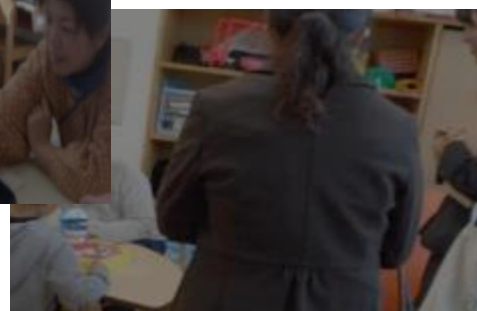
幼児教室からの継続指導

小学生の通級児の 8 割以上が幼児教室からの継続指導です。子どもや保護者にとって通い慣れた場であるため安心感があり、指導をスムーズに受け入れられる様子が見られます。また、担当者も子どもの実態や指導方法の引継ぎが確実にでき日々の指導の中で子ども同士の交流も意図的に行うことで、思いやりの心や自主性、積極性などを育てる場にもなっています。



指導公開の実施

6 月と 1 月に指導公開を行い、通級児の担任や関係機関の職員を対象に指導公開を行っています。





医療機関との連携

医療機関へかかっている子については、ことばの教室担当者と担当STが連絡ノートや電話、メールなどで連絡を取り合いながら指導を進めています。状況によって担当者が病院での指導を参観させていただくこともあり、子どもの表れや指導の内容、指導上の疑問点、STからのことばの教室担当への指示やアドバイスなどを知らせ合うことで指導内容の充実を図っています。

教室だよりの発行

ことばの教室や子どもの言葉や全体発達などに対する理解を拡げる目的で、毎月ことばの便りを送付しています。

【送付先】

- ・市内全小学校、中学校及び園
- ・保健センター
- ・子ども早期療育支援センター
- ・子育て支援センター
- ・子ども支援室
- ・市教委 学校教育課窓口
- ・特別支援学校 など

KITHUON♥カフェの実施

吃音をもつ親子の交流の場として平成28年度から「KITHUON♥カフェ」を実施しています。

ことば

袋井市立高南小学校 ことばの教室
袋井市上田町306-2
TEL 0538-43-9105 (直通)
No.295 平成30年6月6日

紫陽花のつぼみが開き始め、街の中で美しい紫色を楽しむ季節となりました。5月から6月にかけて遠足や運動会などを経験した子どもが多く、楽しかったことや頑張ったことなどお話をしてくれる子どもも多いです。行事を一つずつ経験することにより、気持ちも身体もたくましくなっていく子どもたち。これからも日々の会話から、そんな成長を感じ取っていきたいと思います。



ことばの扉

今回は、ことばの教室に通う子どもたちの中でも最も多い課題である「発音」についてお伝えします。右の表は発音できるようになる音の順序や年齢の目安です。標準的には6歳前後で完成するといわれています。

しかし、発音の発達は非常に個人差が大きいです。また、多少発音に誤りがあっても、年齢とともに、ほとんどが自然に改善されていきます。ただ、5〜6歳になると、自分の誤りに気付いて気にしたり、他の子に指摘されたりして別の心配が起ることがあります。舌や上あごに問題がある場合や誤った音の出し方が癖になってしまう場合もときどきあります。お子さんの話し言葉について気になることがありましたら、お気軽に「ことばの教室」まで御相談ください。

☎43-9105 (直通)

家庭でできることってどんなこと？

- ◎聞く力を育てましょう。
 - ・いろいろな物音や鳴き声などに興味をもたせましょう。
 - ・人の話を聞くことができるようにしましょう。本を読んでも聞かせるのもよいことです。
 - ・正しい音でそれとなく繰り返しましょう。大人がよい聞き手になりながらよいモデルになることが、正しい発音を育てる大きな芽を育むことにつながります。

- ◎口や舌などの動きをよくしましょう。
 - ・よく噛んで食べる必要がある食材を使う、食材の切り方を工夫する等で噛むことを意識しましょう。
 - ・スープを吸ったり、飲み物をストローで飲んだり熱い物をフーフー吹いて冷ますことも効果的です。
 - ・なめることは、舌の動きを高めます。棒付きキャンディーやソフトクリームを舌先でなめるなどを。
 - ・うがい、口や舌の奥の方の動きを高めます。

- ◎発音の誤りを指摘したり言い直しをさせたりすることはやめましょう。
 - ・注意したからといって正しく言えるわけではありません。話すことへの意欲や自信をなくしてしまふこともあります。



年齢	発音できるようになる音のめやす
1歳	バ行・パ行 マ行・ナ行
2歳	ヤ行 タ・テ・ト
3歳	カ行・ガ行 キヤ行・ギヤ行 シ・シャ行 ジ・ジャ行 チ・チャ行
4歳	ハ行・ヒヤ行
5歳	サ・ス・セ・ソ ザ・ズ・ゼ・ゾ ラ行・ツ
6歳	

～よくある発音の誤り～

- ・子音部分を省略して、母音だけで発音する。
「こはん」→「こあん」「テレビ」→「テエビ」など
- ・発音できない子音を他の発音できる子音に置き換えている。
「がっこう」→「だっこう」「あき」→「あだ」「ラッコ」→「ダッコ」など
- ・舌や唇や下あごに、不自然な力を入れて発音するためにおこる「ひずみ音」
独特の雑音が目立つたり、相手に「何か変」「滑舌が悪い」「聞き取りづらい」などの違和感を感じさせたりすることがある。

記

- 1 目的 子どもたちが自分らしさを発揮し、友達と一緒にのびのび楽しむ。
保護者同士が親睦を深め、悩みを語り合う。
- 2 日時 平成29年12月22日(金)
13:30～15:30(小・中学校の2学期終業式の午後)
- 3 場所 高南小学校ことばの教室
- 4 内容 子どもグループ 室内レクリエーションやおやつ
保護者グループ アドバイザーの先生を囲んで、お茶をいただきながら座談会
- 5 その他 ・当日茶葉代(大人100円、子ども50円)を集合させていただきます。
・お子さん用の上靴、水筒をご持参ください。
・参加希望者が少ない場合は、開催を中止します。
・御不明な点がございましたら、ことばの教室へお問い合わせください。

袋井市立高南小学校ことばの教室
担当 栢田 友子
TEL 0538-43-9105
FAX 0538-43-9105

子育て支援センター等での保護者向け講話

市内子育て支援センター等の依頼で乳幼児の言葉の発達について出前講話を行い、その場で相談活動も行っています。その後の教育相談につながる場合もあります。